Fujitsu マルチプラットフォーム対応暗号化ツール

COMPLOCK II

マルチプラットフォーム対応 暗号化ツールのCOMPLOCKII（コンプロックツー）は、メインフレームからPCにいたるまでのマルチプラットフォームで動作する圧縮・暗号化ツールです。
暗号アルゴリズムは独自方式のブロック暗号・ストリーム暗号の他、電子政府推奨暗号（注1）の一つであるAES（注2）に対応しております。

水平連携（ベンダー）

日本電気、UNISYS	IBM、日立	富士通	メインフレーム	垂直連携（OS）
Linux	HP-UX、AIX	日本語 Solaris	UNIX	
Windows			PC	

（注1）電子政府推奨暗号：
総務省および経済産業省が共同推進する暗号技術評価プロジェクト「CRYPTREC」において、電子政府にて利用することが推奨されている暗号アルゴリズムです。
（注2）AES（Advanced Encryption Standard）：
米国政府の標準暗号化方式のひとつです。2003年に日本の電子政府推奨暗号として認定、2005年にはISO/IEC 18033で国際標準暗号の1つになっています。

●こんな企業様におすすめ！

- 個人情報や機密情報などのデータをやりとりしている
- 社内システムのバックアップデータを暗号化する検討をしている

●特長

1 マルチプラットフォームに対応しており、
メインフレームやUNIX機との圧縮・暗号化したデータの受け渡しと復号ができます。

2 複数メーカーのメインフレームOS（富士通・IBM・日立・NEC）に対応、
圧縮・暗号化ファイルを異機種間で相互に受渡しできます。

3 メインフレーム上のデータを直接暗号化できるため、送受信するデータの暗号化用に
別途UNIX / Windows機を導入する必要が無く余分なコストとリスクを削減できます。

© 2026 Fujitsu Limited

●商品体系

	商品名	バージョン	適応OS
メイン フレーム	MSP版	V06L01	【富士通】 MSP
	XSP版		【富士通】 XSP
	日立版		【日立】 VOS3 （新規販売はCOBOL版のみになります）
	日本電気版		【日本電気】 ACOS-4
	UNISYS版		【UNISYS】2200系
	IBM版		【IBM】z/OS （新規販売はCOBOL版のみになります）
	IBM i版 （旧AS400版）	V06L02	【IBM】 IBM i 7.4 / IBM i 7.5 / IBM i 7.6
UNIX	Solaris版	V07L01	日本語Solaris 11.4［CPU:SPARC］
	HP-UX Itanium2版		HP-UX 11iv3
	AIX版		AIX 7.2 / AIX 7.3［CPU:POWER］
Linux	Linux IA x64版	V07L01	Red Hat Enterprise Linux 8（for Intel64） Red Hat Enterprise Linux 9（for Intel64） Red Hat Enterprise Linux 10（for Intel64） Oracle Linux 8（for Intel64） Oracle Linux 9（for Intel64）
Windows	Windows版	V07L01	Windows 11［CPU:x64］ Windows Server 2016［CPU:x64］ Windows Server 2019［CPU:x64］ Windows Server 2022［CPU:x64］ Windows Server 2025［CPU:x64］ （注3）（注4）

Linux版はV07L01より、Oracle LinuxとCentOSに対応しました。（注3）日本語版のみ。（注4）JIS2004は未対応。

一部商品の販売終了のお知らせ

適応OSのサポート終了にともない、下記商品については新規販売を終了致しました。
ご利用中のお客様におかれましては、すみやかに後継商品へ移行いただく等のご対応をよろしくお願い申し上げます。

・UNIX HP-UX PA-RISC版
販売終了：2021年11月30日、サポート終了日：2024年11月末日、後継商品：Linux IA x64版

・Linux IA x86版
販売終了：2020年11月30日、サポート終了日：2023年11月末日、後継商品：Linux IA x64版

【今後のサポートについて】
サポート内容：OSに影響しない仕様や操作に関するQ&A対応のみとなります
（OSに起因する問題に関しての修正提供とQ&A対応はいたしません）

【重要】バージョンアップおよびレベルアップのご案内（2020年5月18日更新）

COMPLOCKIIの下記商品についてはバージョンアップおよびレベルアップを行いました。これにともない、旧バージョンの新規販売は終了させていただきます。お客様におかれましては、サポート期限までに新バージョンへの移行をよろしくお願い申し上げます。

【V06L01/Version6.1からV07L01へのバージョンアップ】

・対象商品：**UNIX版、Linux版、Windows版（メインフレーム版は対象外）**
・新バージョン販売開始日：2019年6月3日
・旧バージョンサポート終了日：2022年5月末日

【V06L01からV06L02へのレベルアップ】

・対象商品：メインフレーム **AS400版（その他のメインフレーム版は対象外）**
　なお、本レベルアップにともない商品名を**「IBM i版」**に変更いたします。
・新バージョン販売開始日：2020年5月18日
・旧バージョンサポート終了日：2023年3月末日

なお、旧バージョンと新バージョンは完全互換です。自社または相手先のどちらか一方のみがバージョンアップまたはレベルアップを行っても、双方に影響はありません。

© 2026 Fujitsu Limited

●利用イメージ

COMPLOCKIIで作成した暗号化データはマルチプラットフォームに対応しているため、相手とプラットフォームが異なっていても暗号化データの授受が可能です。

- COMPLOCKIIに文字コード変換やファイル転送機能はありません。
- Windows版COMPLOCKIIはファイルサイズ最大4GBまで使用できます。

●機能

基本機能

暗号化	指定したファイルを独自方式のブロック暗号、ストリーム暗号、またはAESで暗号化します。
部分暗号化	AESで固定長ファイルを暗号化する際、各レコードの特定項目のみを暗号化します。暗号化を機密性の高い項目に限定することで、処理時間の短縮と機密保持の両立を実現します。
ワンタイム鍵生成	ユーザーが指定した鍵を元に、内部で毎回異なる暗号鍵を自動生成します。同じデータを同じ鍵で暗号化しても、暗号データは異なるデータとなるため、解読されにくくなります。 復号時には自動生成された鍵をCOMPLOCKIIが自動認識します。
圧縮	暗号化の際にファイルを圧縮します。暗号化せず、圧縮処理のみも可能です。（注5）
固定長圧縮	圧縮・暗号化ファイルをメインフレームと受け渡しする場合に転送ソフトで利用しやすいよう、固定長ファイル形式で出力できます。
復号	COMPLOCKIIで暗号化したファイルを復号します。
データチェック	暗号化ファイルにチェック用データを付加し、復号化時にデータの同一性をチェックします。

（注5）部分暗号化との併用はできません。

Windows版限定機能

バッチファイル作成	GUIで入力した圧縮・暗号／復号・復元パラメータをコマンド化して、バッチファイルを作成。
メモ帳	専用のテキストエディタ上でテキストデータの編集を行い、保存時に暗号化。ただしこのメモ帳を使って作ったファイルを暗号化した場合、復号ファイルもこのメモ帳でしか参照できません。
起動パスワード	COMPLOCKII起動時にパスワード入力が必要です。
前回パラメータ保存	終了時のパラメータを保存しておき、次回起動時に表示します。
復号プレビュー	データの最初の20件を復号・復元してプレビューします。
鍵管理	暗号する鍵やパラメータを保存します。
ヘッダ情報表示	圧縮・暗号化ファイルのヘッダレコードの内容を表示します。

© 2026 Fujitsu Limited

●機能

オプション機能

	機能概要	備考
簡易鍵管理（COMPLOCKII実行補助機能）	指定のフォーマットでユーザが作成・管理している暗号鍵情報管理ファイルを元に、COMPLOCKIIの実行をサポートする機能です。 当オプションを利用することで、COMPLOCKIIを実行する際、暗号鍵を実行文に記載する必要がないため、暗号鍵を変更するたびに実行文を書き換える手間や、暗号鍵が遺漏するリスクを低減することができます。	異なるバージョン、OSで、本体とオプションの組み合わせはできません。IBM i版の提供はありません。
ライブラリ	ライブラリライセンスのご提供も行っておりますが、用途、条件、対象OSなどにつきましてはお問合せください。	

バージョンアップ / レベルアップによる機能強化について

【V07L01の機能強化】

- **鍵管理機能（簡易鍵管理オプション）をCOMPLOCKII本体のコマンドと一体化**
  従来の簡易鍵管理オプションは、COMPLOCKII本体と別製品になっていました。
  新バージョンでは本体のコマンドに鍵管理機能を組み込み、よりスムーズにご利用いただけるようになりました。
  なお、鍵管理機能のご利用には、これまでどおり別途オプション費用（旧バージョンの簡易鍵管理オプションと同価格）が必要です。
- **AES-NI対応**
  COMPLOCKIIをインストールする機器に「Intel AES-NI (注6) 」が実装されている場合、より高速なAES暗号化・復号処理が可能になりました。
- **不正な暗号ファイルの復号時の対応強化**
  データチェック機能を強化し、不正なファイルの検知率の向上を図りました。

【V06L02（IBM i版のみ）の機能強化】

- **コマンドライン対応**
  従来は対話型方式による実行を標準としていましたが、新たにコマンドラインによる実行をサポートします。他OS版との互換性はV06L01と同じです。

（注6）Intel AES-NI（AES New Instructions）：インテル社製プロセッサに搭載されている、AES暗号化・復号処理を高速化するための拡張機能です。

●お客様サポート

メインフレーム版およびUNIX版、Linux版は、ライセンス費用にサポート費用が含まれるため、別途ご契約は不要です。
Windows版は、別途プログラムサポート契約が必須です。

Q&A対応	仕様や利用方法、運用環境等の質問・相談、プログラムが正常に動作しない場合の原因調査等をメールで受け付け、回答 対応時間：平日9時～17時（祝祭日、年末年始などの当社休業日は除く）
レベルアップ対応	同一バージョン内でレベルアップが発生した場合、レベルアップ版を提供
不具合修正対応	マニュアルに通りに動作しない場合、必要に応じて修正版を提供

●動作環境

	メモリ	ディスク	その他
メインフレーム版	-	-	インストール媒体はDVD-ROMで提供
UNIX版 Linux版	64MB以上推奨	10MB以上	
Windows版	128MB以上推奨	20MB以上	

© 2026 Fujitsu Limited

●価格

商品名			標準価格（税別）（注7）
COMPLOCKII メインフレーム版	MSP版、XSP版 日立版、日本電気版 UNISYS版、IBM版	導入前アンサーサービス【必須】（注8）	150,000円
		月額ライセンス 基本	80,000円
		月額ライセンス 追加（注9）	40,000円
	IBM i版	導入前アンサーサービス【必須】（注8）	150,000円
		月額ライセンス 基本	55,000円
		月額ライセンス 追加（注9）	27,500円
	–	プログラム使用許諾、サポート費用はライセンス費用に含まれます。	
COMPLOCKII UNIX版 Linux版	Solaris版 HP-UX Itanium2版 AIX版 Linux IA x64版	導入前アンサーサービス【必須】（注8）	145,000円
		メディアパック（注10）	5,000円
		月額ライセンス 基本	55,000円
		月額ライセンス 追加（注9）	27,500円
	–	プログラム使用許諾、サポート費用はライセンス費用に含まれます。	
COMPLOCKII Windows版		ライセンス 基本	300,000円
		ライセンス 追加（注9）	200,000円
		年額プログラムサポート【必須】（注11）	ライセンスの標準価格×10%

（注7） COMPLOCKIIは、標準価格でのご提供となります。
（注8） メインフレーム版およびUNIX版、Linux版のCOMPLOCKIIを利用するための初期費用です。ご利用開始前にインストールや動作検証等に関する問い合わせ対応を行います。
適応OSに応じた商品毎、新規契約毎に必須です。導入拠点、ライセンスの納期・利用開始日が異なる場合は別契約とします。
（注9） 同一注文かつ同一の納期・利用開始日で複数ライセンスをお求めの場合、2ライセンス目以降の価格です。
MSP版とXSP版、Solaris版とAIX版等、適応OSが異なる組み合わせでは適用されません。
（注10） UNIX版およびLinux版のインストール媒体はライセンスと別売りです。（メインフレーム版およびWindows版のインストール媒体はライセンスに付属）
（注11） Windows版には別途サポートサービス契約が必須です。

オプション名		標準価格（税別）
メインフレーム版（IBM i版を除く）	簡易鍵管理オプション 月額ライセンス	10,000円
	簡易鍵管理オプション 月額ライセンス 追加	5,000円
UNIX版 Linux版	簡易鍵管理オプション 月額ライセンス	6,000円
	簡易鍵管理オプション 月額ライセンス 追加	3,000円
Windows版	簡易鍵管理オプション	30,000円
	簡易鍵管理オプション プログラムサポート	3,000円

新バージョンへの移行について

・**V06L01/Version6.1をご利用中のお客様**
V07L01を新規でご購入いただく必要があります。
※2022年5月31日をもって、ご契約中のお客様を対象とした追加費用なしでのV07L01のご提供は終了しました。

・**メインフレーム AS400版 V06L01をご利用中のお客様**
使用許諾契約を継続されているお客様は、追加費用なしでIBM i版V06L02をご利用いただくことができます。

なお、いずれの場合も新規インストール作業をお客様にて実施いただく必要があります。バージョンアップまたはレベルアップをご希望のお客様は、ご契約時にご案内しているサポート窓口までお問い合わせください。

●互換性

1. メインフレーム版、UNIX・Linux版、Windows版はそれぞれシステム互換があります。
2. COMPLOCKIIとCICLOCKII（株式会社シーアイシーシステムズ製）はシステム互換があります。
COMPLOCKIIで圧縮・暗号化したデータはCICLOCKIIで復号・復元できます。その逆の運用も可能です。

© 2026 Fujitsu Limited

●よくある質問（FAQ）

COMPLOCKII について、皆様からよくお問い合わせいただく内容をまとめました。

一般 ライセンス

Q ライセンス料金の考え方について教えてください

A 以下の考え方になります。

対象OS	ライセンスの考え方
UNIX・Linux版、Windows版	OS単位に1ライセンスを購入。仮想環境に導入する場合も、導入するOS毎に1ライセンスを購入。

（注）メインフレーム版は別途お問い合わせください。

Q 追加ライセンスの価格はどのような場合に適用されるのでしょうか？

A 同一注文で複数ライセンスをお求めの場合、2ライセンス目以降に適用されます。以下の条件をすべて満たす必要があります。

- 1ライセンス目と同時に使用許諾契約を締結し、納期・利用開始日が同一であること
- 1ライセンス目と同一の適応OS商品・バージョンであること
- 1ライセンス目と同一のお客様（エンドユーザー）であること

Q すでにCOMPLOCKII を使用しています。1ライセンスを追加する場合、追加ライセンスの価格が適用されますか？

A いいえ。追加ライセンスの価格が適用されるのは、同一注文の場合です。

© 2026 Fujitsu Limited

導入前 共通

Q 暗号化後のファイルサイズは変わりますか？

A 圧縮の有無によって異なります。圧縮ありで圧縮できるファイルであれば小さくなりますが、全く圧縮できないファイルの場合は、多少大きくなることもあります。

Q 圧縮・暗号化／複号・復元時に作業領域（ワークファイル）は使用しますか？

A 作業領域（ワークファイル）は使用しません。

Q 試用したいのですが、試用版はありますか？

A 試使用契約をすれば1か月間無料で試用できます。

Q マニュアルが見たいのですが、公開していませんか？

A マニュアルの公開はしていません。試使用契約すれば貸し出し可能です。

Q 他の暗号ソフトでAESを使った場合に互換はあるのでしょうか？

A 互換はありません。暗号アルゴリズムがAESでも、ソフトによって実装方法が異なります。

Q どのような暗号アルゴリズムに対応していますか？

A 暗号アルゴリズムは独自方式のブロック暗号・ストリーム暗号の他、電子政府推奨暗号の一つであるAESにも対応しております。

Q 複数のOSに対応していますが、互換性はあるのでしょうか。

A マルチプラットフォームに対応しており、メインフレーム、UNIX、Linux、Windows間で圧縮・暗号化したファイルを相互に受渡しと復号ができます。さらに、複数メーカーのメインフレームOS（富士通・IBM・日立・NEC・UNISYS）に対応し、圧縮・暗号化ファイルを異機種間で相互に受渡しと復号ができます。

Q 取引先別や定期的に鍵を変えると、鍵の管理が煩雑になりそうです。

A 別製品でデータの暗号鍵（共通鍵）管理を支援する暗号鍵管理システム「KeyMeister」があります。詳細はKeyMeisterをご参照ください。

導入前 メインフレーム

Q 区分編成ファイル（POファイル）の暗号化はできますか？

A 区分編成ファイルの暗号化はできません。メンバー単位での暗号化になります。あるいは、区分編成ファイルをバックアップして順編成ファイルにすれば暗号化できます。

導入前 メインフレーム、UNIX、Linux

Q インストール作業を実施してもらうことはできますか？

A 端末を使用してのインストール作業はお客様で実施していただきます。当社はご利用開始前のインストールや動作検証等に関する問い合わせ対応を「導入前アンサーサービス」で行います。

© 2026 Fujitsu Limited

導入前 UNIX、Linux、Windows

Q フォルダの暗号化はできますか？

A フォルダの暗号化はできません。ファイル単位での暗号化になります。あるいは、ZIPやtarなどでアーカイブして1つのファイルにすれば暗号化できます。

Q 暗号化しながらDATへバックアップすることはできますか？

A DATのファイルを直接、暗号化／復号することはできません。一度バックアップファイルをディスクに保存し、暗号化してからファイルをDATへコピーすることになります。復号時はその逆になります。

導入前 UNIX、Linux

Q どのような使用方法なのでしょうか？

A コマンドでの実行方法になります。プロンプトやシェルから実行します。

導入前 Windows

Q DOSプロンプトからの実行（バッチでの運用）はできますか？

A コマンドでの実行も可能ですので、ユーザプログラムからコマンド実行することもできます。

Q Windows版で自己復号形式の暗号ファイルは作成できますか？

A 自己復号形式の暗号ファイルの作成は安全性を保つため、あえておこなっていません。復号する場合もCOMPLOCKII が必要です。

Q Windows版の導入支援はありますか？

A Windows版の導入支援はありません。Windows版はインストーラがありますので、インストーラーで簡単にインストールできます。

Q ウイルス検出ソフトや他アプリケーションとの相性で問題はあるでしょうか？

A 現時点では、問題が発生した事例はありません。

Q Windows版のサポートの契約は必須ですか？

A 必須です。

© 2026 Fujitsu Limited

サポート

Q プログラムサポートの内容を教えてください。

A プログラムサポートには以下のものが含まれます。

・Q&A対応
仕様や利用方法、運用環境等の質問・相談、プログラムが正常に動作しない場合の原因調査等をメールで受け付け、回答
対応時間：平日9時～17時（祝祭日、年末年始などの当社休業日は除く）

・レベルアップ対応
同一バージョン内でレベルアップが発生した場合、レベルアップ版を提供

・不具合修正対応
マニュアルに通りに動作しない場合、必要に応じて修正版を提供

ユーザーサポートサイト
最新リリース情報やサポート期限、バージョンアップの手続き等を記載しています。

© 2026 Fujitsu Limited